

制服・運動服について

【趣 旨】

制服・運動服の取り扱いの基本方針(導入の可否、導入時期、選定方法)について協議する。

1. 現行の制服・運動服

(1) 小学校

① 標準服

4校全て標準服(イートン服、半ズボン、吊りスカート)があり、冬用は全校が紺色、夏用はサックス、紺、グレー。

シャツは、シャツ・ブラウスタイプとポロシャツタイプがある。

購入価格は、冬・夏トータルで男子が23,000円程度、女子が27,000円程度。

② 体育服

4校全て指定用品(半袖シャツとハーフパンツ)、男女共通、ジャージなし。

※東桜島小のみ長袖シャツあり。

購入価格は、上下で5,000円程度。

(2) 中学校

① 制服

3校とも全て制服があり、男子は黒の詰襟、女子はセーラー服(冬用は全校が紺色、夏用は紺色、ブルー)。

購入価格は、冬・夏トータルで男子が36,000円程度、女子が40,000円程度。

② 体育服

3校全て指定用品(半袖シャツ、ハーフパンツ)、男女共通。

購入価格は、上下で5,000円程度。

③ ジャージ

3校全て指定用品、男女共通で全校が紺色。

購入価格は、上下で10,000円程度。

■別紙「参考資料1」参照

2. 義務教育学校での制服

1～9年生が通学する学校となるため、複数の制服導入のパターンが想定される。

○全学年で制服を着用する(全学年でデザインを統一、小・中学校でデザインを分ける)

○教育課程の区切りにあわせて制服着用を開始する。

○7～9年生(中学生相当)の学年で制服を着用し、1～6年生(小学生相当)は私服

■別紙「参考資料2」参照

3. 制服・運動服の導入時期の事例

- 開校時に、全学年でそろえる
- 開校時に順次そろえる(新入生から着用、新入生と希望者が着用 など)
- 開校2年前からそろえる(開校時に中学3年生になる生徒が、中学1年生になる時から)
- 制服と運動服などの学校指定用品は、同じ時期にそろえる
- 制服と運動服などの学校指定用品をそろえる時期を統一しない

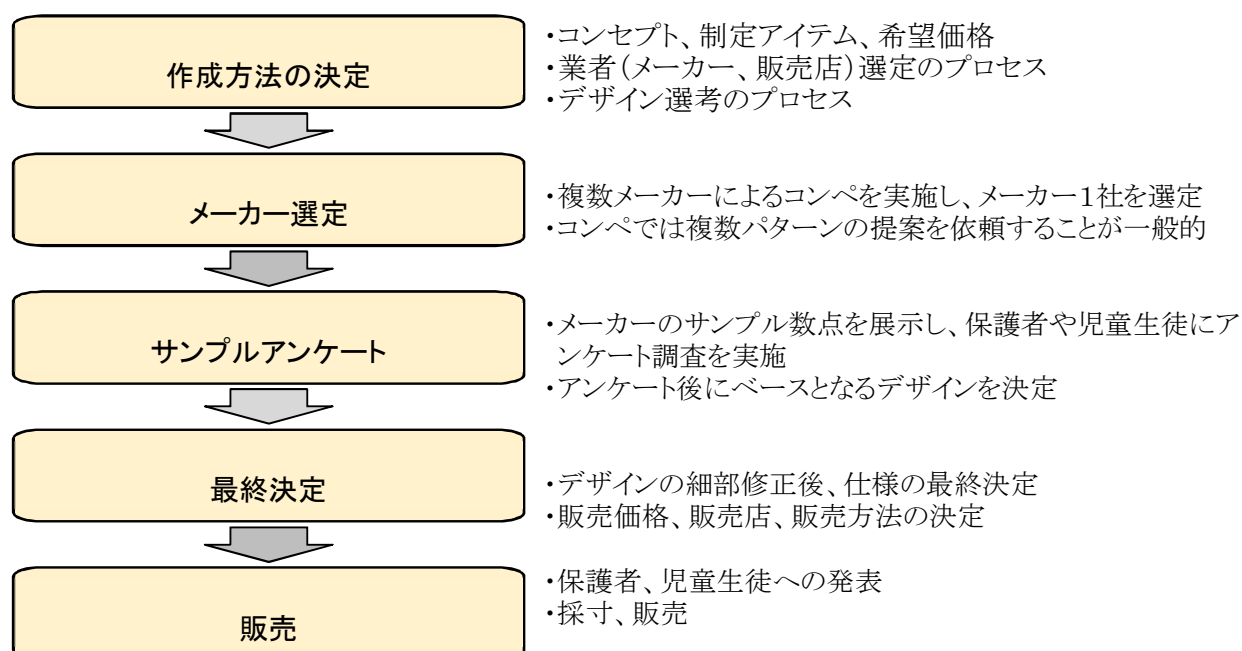
■別紙「参考資料2」参照

4. 制服・運動服の選定方法の事例

既存校が制服の見直しなどをする際には、学校関係者や保護者等で「被服選定委員会」を設立し、制服等の選定業務にあたる事例が多くみられる。

統合校など学校新設の場合は、統合の準備委員会で選定業務にあたる事例が多くみられる。

作成方法の検討開始から販売開始まで、最短で10か月程度は必要とされている。



【参考①】

「公立中学校における制服の取引実態に関する調査」(平成29年11月29日 公正取引委員会)によると、学校に対しては、制服の取引に関与する際には、制服メーカー間及び販売店間の競争が有効に機能する取組が行われることが期待されている。

【参考②】

「学校における通学用服棟の学用品等の適正な取り扱いについて(通知)」(平成30年3月19日付け文部科学省通知) 概要抜粋

- ・学校及び教育委員会は、学用品等の購入について保護者の経済的負担が過重なものとならないよう留意すること。
- ・通学服等の選定や見直しについては、最終的には校長の権限において適切に判断すべき事柄であるが、その際には保護者等学校関係者から意見を聴取した上で決定することが望ましい。

■別紙「参考資料3」参照

5. 基本方針について

[事務局案]

アンケート調査結果で「制服・運動服が必要」が多数であったことから、制服・運動服を導入する方向とするが、導入の可否を含め、児童生徒・保護者で意思決定してもらおう。

- ・児童生徒が新しい学校生活を考える機会を通して制服等についても考えてもらい、新しい学校での着用するものについての意見を取りまとめてもらう。
- ・保護者(未就学児童の保護者を含む)には、児童生徒が取りまとめた意見をふまえながら、基本方針についての合意形成を図ってもらう。

■合意形成を図ってもらう基本方針

- ・制服等を導入するか、しないか

<導入とする場合>

- ・新たに作成するのか、現行品を継続させるのか
- ・用品の種類(標準服、詰襟・セーラー服、ブレザータイプ など)と希望価格
- ・導入開始時(開校時導入か、開校前導入か、一定期間は自由購入か など)

<導入しないとする場合>

- ・標準となる用品を定めるか、定めないか

■報告期限

令和6年3月中旬

[理由]

- ・アンケート調査結果から、「制服・運動服を導入する」が約7割であったが、いつ導入するか、どのような種類の制服が望ましいかといった点については、特に定まった方向性は見られない。
- ・現時点で新しい学校での教育ステージや教育課程が未定のため、教育活動を考慮した制服等導入の検討が困難であり、早急に結論を出すこと適切ではない。

【参考】保護者、児童生徒の意見

[意見交換会]

日時：9月8日(木) 18:30~19:30

場所：桜島公民館大会議室

参加者：20名(コミュニティ協議会関係者、保護者、学校関係者、地域住民 など)

- 主な意見等：
- ・新しい学校を造ろうとしているので、前例にとらわれず意見を出すというのもあってもよいのではないか。
 - ・私服の小学校では、高学年になると流行りのものを着ていない子が、着ている子に「持っていないの?」と言われることがあった。
 - ・メーカーをコンペで選ぶとき、1期生には宣伝としてサンプルで提供してもらえれば保護者の負担も減るのでは。全体的に1万円弱でおさめられるのであれば保護者の負担も

少ない。

- ・保護者が主導権を持って主役になると思う。いろいろな案があるが、自主性多様性を組めて私服についても考える価値はあるのかなと思う。仮に私服でスタートして、制服がいいと思ったら制服を導入してもいいのでは。

■別紙「参考資料4」参照

[アンケート調査結果]

調査期間：令和4年9月8日(木)～9月22日(木) ※中学生は9月30日(金)まで

調査対象：保護者用…小中学生、未就学児の保護者、小中学校教職員

小学生用…小学1年生～6年生

中学生用…中学1年生～3年生

調査方法：保護者用…小中学校及び保育園・幼稚園経由で調査依頼書配布(WEB 回答)

意見交換会会場にて配布(WEB 回答)

小学生用…小学校調査依頼(WEB 回答。低学年は調査票)

中学生用…中学校に調査依頼(WEB 回答)

回答数：238件(保護者用…76件 中学生用…48件 小学生用…114件)

調査結果：概要は下記のとおり

[制服導入の可否]

	保護者・学校関係者等	中学生	小学生	全体
必要	52人 (68.4%)	39人 (81.3%)	77人 (67.5%)	168人 (70.6%)
必要でない	24人 (31.6%)	9人 (18.7%)	37人 (32.5%)	70人 (29.4%)

※保護者・学校関係者等及び中学生の回答分類について

「賛成」①全学年で必要、③中学生から制服、④小学生のみ制服、⑤現行制服を着用

「反対」②全学年私服、⑥制服不要で標準用品を定める、⑦その他

[運動服導入の可否]

	保護者・学校関係者等	中学生	小学生	全体
必要	39人 (69.7%)	39人 (81.3%)	—	78人 (70.9%)
必要でない	23人 (30.3%)	9人 (18.7%)	—	32人 (29.1%)

※保護者・学校関係者等及び中学生の回答分類について

「賛成」①全学年で必要、③中学生ジャージと体育服、小学生体育服、④小学生のみ体育服、

⑤現行運動服を着用

「反対」②市販品、⑥運動服不要で標準用品を定める、⑦その他

※小学生は未調査

〔制服デザインの種類〕 ※新しく制服を作ることを想定しての回答

	保護者・学校関係者等	中学生	小学生	全体
全学年で統一(シャツあり)	15人 (19.7%)	11人 (22.9%)	15人 (13.2%)	41人 (17.2%)
全学年で上着、ボトムのみ統一(シャツ自由)	19人 (25.0%)	4人 (8.3%)	26人 (22.8%)	49人 (20.6%)
小学生が標準服、中学生が詰め襟・セーラー服	19人 (25.0%)	17人 (35.4%)	18人 (15.8%)	54人 (22.7%)
小学生が標準服、中学生がブレザータイプ	16人 (21.1%)	15人 (31.3%)	34人 (29.8%)	54人 (27.3%)
その他	7人 (9.3%)	1人 (2.1%)	21人 (18.4%)	29人 (12.2%)

〔制服の導入時期〕 ※小学生と中学生が異なるデザインの制服を着用することを想定しての回答

	保護者・学校関係者等	中学生	小学生
開校時導入、全員が新しい制服	13人 (17.1%)	27人 (56.2%)	58人 (50.9%)
開校時導入、1・7年生のみ新制服	14人 (18.4%)	6人 (12.5%)	7人 (6.1%)
開校時導入、1・7年生と希望者のみ新制服	12人 (15.8%)	4人 (8.3%)	42人 (36.8%)
開校時導入、数年間は自由購入	14人 (18.4%)	5人 (10.4%)	— —
令和6年4月導入	16人 (21.1%)	3人 (6.3%)	— —
開校後制服作成	3人 (3.9%)	3人 (6.3%)	— —
その他	4人 (5.3%)	0人 (0%)	7人 (6.1%)

※「—」…小学生用については、回答選択未設定

■別紙「参考資料5」参照